

テーマ

鳥取県における食環境整備のための食生活研究

発表者

野津あきこ 鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻 准教授

概要

本研究では、県内で実施している食生活状況等の調査研究をベースとして、鳥取県の食を中心とした課題の把握及び県内のメタボリックシンドローム対策や食育に関する基礎資料の作成や情報の提供を行っている。また食環境整備のための各機関・多職種との連携もすすめている。

背景と現状

県の食生活に関わる健康づくり施策は「健康づくり文化創造プラン」や「食のみやこととり～食育プラン～」等。特定健診・保健指導もスタートした。鳥取県は生活習慣病を主要因とする死因が、全国平均より高い。

研究活動・活動内容・調査結果等

目的

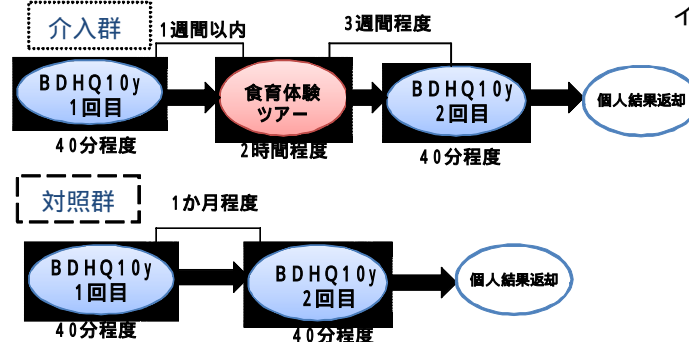
県内食生活調査等の基礎資料を効果的に活用するための検討
各機関・他職種の健康や栄養に係る専門家との連携のための食環境整備

5 A DAY 食育体験ツアーの食育効果測定

鳥取市内のスーパー及び鳥取市内の小学校(H19)
対象者 232 人 解析対象 216 人 (93.1%)

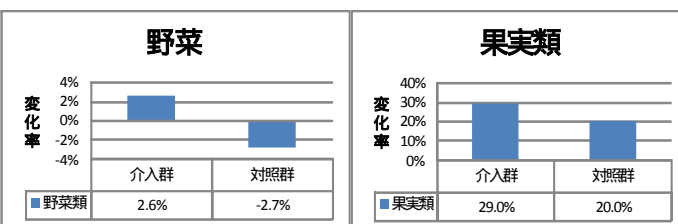
食生活調査の活用 南部町食生活調査 (H19)
BDHQ 調査票配布数 502 回収数 340 (67.7%)

食育効果の検証の方法



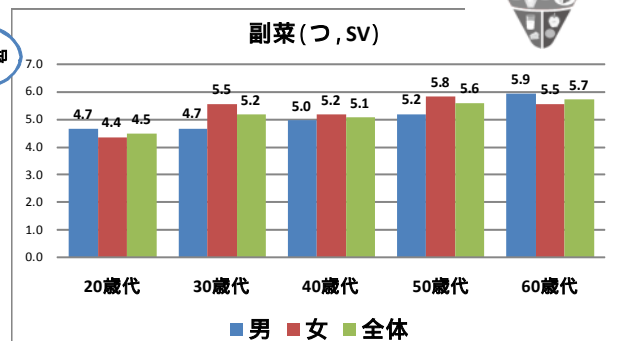
(BDHQ10y 小学校高学年用簡易型自記式食事歴法質問票)

食育効果測定の結果 < 有意な改善効果は認められなかった >



年代・男女別の副菜のとりかた

< 若い人のほうが、副菜（食事バランスガイド）のとりかたが少ない傾向がある >



山陰小児・ヤング糖尿病食事療法研究会等

- ・小児・ヤング糖尿病食事療法研究会の開催
小児のメタボリックシンドローム他(H19/9/2)
赤ちゃんにとって一番よい栄養は？～BFH
認定病院としての取り組み他(H20/1/27)
- ・小児糖尿病大山サマーキャンプ(H19/8)

おわりに

鳥取県の食を中心とした課題は、メタボリックシンドローム対策 食育の推進
メタボ対策・食育推進のための各機関・他職種との連携強化が重要と考える。

【来場者へのメッセージ】

平成 20 年度から特定健診・保健指導がスタートしました。メタボリックシンドローム改善のための行動変容を目標とします。

連絡先: 鳥取短期大学生生活学科食物栄養専攻 准教授 野津あきこ

倉吉市福庭 8 5 4 TEL. 0858 - 26 - 1811 E-mail: anotsu@ns.cygus.ac.jp

分野

その他(栄養・食生活)